⑵　減損の認識に至った経緯

電話加入権については、新規休止13回線について、将来の使用見込みが客観的に存在しないことから減損を認識しております。

⑶　減損額のうち損益計算書に計上した金額と計上していない金額の主要な固定資産毎の内訳

（単位：百万円）

用途	種類	損失処理額	損益外処理額
電話加入権	電話加入権	―	0

⑷　回収可能サービス価額の算定方法の概要

電話加入権

回収可能サービス価額は、正味売却価額により算定しております。正味売却価額は、平成27年度財産評価基準書における公示価格としております。

2．減損の兆候が認められた固定資産（減損を認識した場合を除く）

⑴　減損の兆候が認められた固定資産の用途、種類、場所、帳簿価額等の概要

（単位：百万円）

用途	種類	場所	帳簿価額
開発地理学磐梯研究所口座	土地	福島県耶麻郡猪苗代町	0
研究用工具器具備品（９件）	工具器具備品	宮城県仙台市青葉区	778
研究用工具器具備品（１件）	工具器具備品	茨城県那珂郡東海村	2
電話加入権	電話加入権	宮城県仙台市青葉区	3
汽船（農学部附属水産実験所口座）	船舶	宮城県牡鹿郡女川町	23

⑵　認められた減損の兆候の概要

開発地理学磐梯研究所口座については、使用可能性が著しく低下しております。

研究用工具器具備品（10件）については、使用環境が著しく悪化、または稼働率が著しく低下しております。

電話加入権については、市場価格が低下しております。汽船については、使用環境が著しく悪化しております。

⑶　減損会計基準「第４　減損の認識」２に掲げる要件を満たしている根拠又は固定資産の市場価格の回復の見込みがあると認められる根拠

開発地理学磐梯研究所口座については、使用可能性が著しく低下していたことから平成22年度に減損を認識しておりましたが、その後の使用可能性に変化はないものの、減損後の帳簿価額が、路線価等を基準とした市場価格に対して著しい乖離がないことから減損を認識しておりません。

研究用工具器具備品（９件）のうち５件については、電気料の高騰により使用を制限せざるを得なかったため、一時的に業務の実績が著しく低下しておりましたが、平成28年度以降は経費の見直しや大型電力設備の更新に伴う消費電力の削減により、利用計画に近い稼働実績が見込まれることから、減損を認識しておりません。また、うち３件については、研究の進捗段階において当該装置を使用する必要がなかったため、一時的に業務の実績が著しく低下しておりましたが、平成28年度以降は当該装置を使用する研究が再開され、利用計画に近い稼働実績が見込まれることから、減損を認識しておりません。残りの１件については、故障により一時的な遊休状態にありますが、修理後は利用計画に近い稼働実績が見込まれることから、減損を認識しておりません。

研究用工具器具備品（１件）については、東日本大震災による研究環境の悪化のため、一時的な遊休状態にありますが、将来の使用の見込みが存在することから減損を認識しておりません。

汽船については、東日本大震災による研究環境の悪化のため、一時的に業務の実績が著しく低下しておりましたが、将来の使用の見込みが存在することから減損を認識しておりません。

電話加入権については、市場価格の回復の見込みがあるとは認められませんが、使用価値相当額（ＮＴＴの公定価格）が帳簿価額を上回ること、あるいは将来の使用の見込みが客観的に存在しないが、回収可能サービス価額が帳簿価額と同額であるため、減損を認識しておりません。

3．翌事業年度以降の特定の日以後使用しないという決定を行った固定資産

⑴　使用しないという決定を行った固定資産の用途、種類、場所等の概要

用途	種類	場所
農学部口座	土地	宮城県仙台市青葉区
本館（農学部口座）	建物	宮城県仙台市青葉区
ズートロン室（農学部口座）	建物	宮城県仙台市青葉区
食品加工実験棟（農学部口座）	建物	宮城県仙台市青葉区
第一研究棟（農学部口座）	建物	宮城県仙台市青葉区
第二研究棟（農学部口座）	建物	宮城県仙台市青葉区
管理棟（農学部口座）	建物	宮城県仙台市青葉区
講義棟（農学部口座）	建物	宮城県仙台市青葉区
厚生施設（農学部口座）	建物	宮城県仙台市青葉区
附属図書館農学分館（農学部口座）	建物	宮城県仙台市青葉区
ＲＩ実験棟（農学部口座）	建物	宮城県仙台市青葉区
動物飼育棟（農学部口座）	建物	宮城県仙台市青葉区
遺伝子実験施設（農学部口座）	建物	宮城県仙台市青葉区
水産生物飼育実験施設（農学部口座）	建物	宮城県仙台市青葉区
研究実験棟第１（農学部口座）	建物	宮城県仙台市青葉区
研究実験棟第２（農学部口座）	建物	宮城県仙台市青葉区